

常新新聞

定部金貳拾元
 一月五元
 三月十元
 半年二十元
 一年四十元

電話六三〇番

九月十九日

常警毎日新聞
 遊戲から見た各作家
 間宮茂輔

(一)
 君は色々な遊戲を知つてゐる男だから、此の題目で書くと云はれた僕だが僕だつて、そんなに澤山の遊戲を知つて居るわけでもない。第一遊戲と云ふ言葉の概念は、昔、小學校で「遊戲の時間」と云ふのが在つて、體操でもなく、運動會の稽古でもなくて、今考へると莫迦らしいやうな所謂遊戲をさせられた記憶が残つてゐて、どうもハッキリと心

一冊の代金で御希望通りな五冊の雑誌が自由に讀める川崎巡文庫

電話六三〇番
 (申込次第規則書進呈)

梅毒 腸胃

皮膚病 婦人病 淋病 梅毒 腸胃病 十二指腸病

平町三丁目
 ホシチエーンストア
 電話四二九番

看護婦派出所

平町南町
 電話三〇七番

肺病 ロクマク の妙藥
 ホシアンチツベルケン
 (五日分定價一圓八錢)
 過去十有年幾多の人を救へる東洋一の此靈藥

甘くて 滋養分の多い ブドーアメ

平町十五丁目
 發賣元 佐藤ブドーシ店
 平驛構内賣
 久保田バンヤ

内小科 花柳科 (需應院入)

藤沼醫院

平町紺屋町
 電話五〇七番

聰明な婦人の自衛

今妊娠しては母体に障るさいふ方に... 花柳病の感染の豫防に...

東都人の推奨せる ヒメリン
 花柳病の豫防完全殺菌薬
 コシケ良薬として最高劑なり、用法簡單一丸を腔内に入れるれば直ちに溶解し強力なる殺菌作用を起し洗滌の必要なく効果確實、久しく使用するも絶対無害なり。

定價金五十錢 金一圓
 特約店 平町田町
 電話五五一番

靈藥ムテキ

切斷の苦しみなく... 淋病、梅毒、乳はれ、毒、きりきり、乳はれ、毒、くさ、りう、まち、す、其他化膿、一切

代理店 平町古鍛冶町
 阿康藥店
 菅佐白石 波藤石 藥藥藥 店店店

かまほこ開始

今回蒲鉾製造を開始 致しました、 鯉節も澤山あります 大奮發、大勉強... 多少不拘何卒御用を願ひ いたします

藤市蒲鉾店
 平町二丁目電話三〇五番

醬油 味醂 鯉節 酒類 罐詰食品

鹽屋山崎合名社會

電話 一部 〇番 營業 二番 工場 七番

普選初頭の縣議戰に當り我國現下の時局に鑑み石城將來の發展を想ふ秋敢て余は茲に左の六名を推薦し極力その當選を祈る

井上茂作君
 山崎吉平君
 鈴木辰三郎君
 古川傳一君
 青沼鋒太郎君
 田子健吉君

昭和二年九月
 推薦者 平町荒川精一

日々皆様の御最負に酬ゆる爲め左記の通り大々的勉強 仕り候是非引續き御愛顧の程御願申候

梅 金參圓也 御一人前
 松 金五圓也 御一人前
 櫻 金七圓也 御二人前

松ヶ岡公園池ノ端(電話二二六番)
 割烹 さ さ わ

ポスター戦に移り 百花乱れ咲くの観

一わたり演説が済んで

愈々あつて一週日餘の目眩に迫つた縣議戦は最近日と共に所謂加速度を以てその甚だしきを加へ、石城郡内十名の候補は夫々三寸不爛の舌鋒鋭く

山間部 市街を問はず片つ端から演説會を開催

し植田、小名濱、湯本、四倉の如き市街地に在つては一日二候補者の演説會が同時に開催さるゝが如き有様であるが一兩日來はこの演説會の傍一齊にポスター戦が開始せられ、寸鐵よく選挙人の

共鳴を 喚ぶスロー

ガンを鮮紅の地に白く抜いたる各種各様のポスターは塀と云はず電柱と云はず目白押しに並んで平町の如きは早くも時ならぬ百花燎爛の情景を現出してゐる、斯る間に演説會は絶えず各所に於て催されつゝあるがこの演説會は一候補二ヶ所の

平均と 見て十一名

の合計回数實に二十有餘回に上るほどで平、四倉、植田等の各署警官は擧げて之が取締に寧日なき有様であるが、結末が見えてゐるだけに争議の警戒よりは遙かに良いと寂しい苦笑が洩らつゝある而も選挙氣分の濃厚を加ふるもの

濃厚を 加ふるもの

に第三者の推薦状があり各方面より發せらるゝ之種の印刷物は目下の處縱横無盡に飛んで戦況の白熱むしろ物凄きものがある

平署へ 舉選

取締 應援隊

本部から出張

石城郡地方は政戦正に酣となり刻々白熱の度を増し大混亂の巷と化すに至つたので平署署では候補者側及び有権者等に違反なきを期すべく各種の取締方法を講じつゝあるが各候補者の演説會は平署管内のみでも昨今毎日十ヶ所内外に開かれてゐるので監視取締等に少くも三四十名の署員を要する状態なので刑事課及保安課から多數の應援隊を求め嚴重なる警戒に努めてゐる

重圍に在る 青沼氏苦闘

炭礦に主力を

炭礦背景の青沼、中立候補は所謂石城の五大炭礦應援の下に演説警察勞務課長或は平町大森勇、阿部政右衛門氏等帷幄に參劄し油断なく奮闘中であるが氏の第一地盤たる炭礦地帯には同候補と全然立場を異にする無産黨二名の候補者あり假に之等は氏の得票の大局に左

程重大なる關係なしとするも炭礦について氏の最も力を傾注しつゝある平町は有力なる各派候補者が現在負す劣らず、投票獲得の秘策を廻らしつゝあるのて氏

湯本の乗合自動車 泡を喰て危く轉落

尼子橋の上で

ランカン四間餘を破壊

十八日午前十時湯本町鈴木自動車店所有の乗合自動車運轉手鈴木三郎(三)が操縦して平町湯本間を疾走中平町長橋町尼子橋に差かゝつた際突如操縦を誤り顛落せんとした幸ひにランカン四間餘を破壊し墜落をまぬかれたが搭乗者は何れも無事であつた

分別盛りな 各候補年齢

年長は六十 年少は廿七

石城郡の逐鹿戦場に鎬を削つてゐる各候補者の年齢は左記の通りで平均は五十歳五分となる譯であるから思



背の低い方は

お顔が餘りに肥りすぎてゐるのは一面悪いものでは

が果してどの程度の收穫を望み得らるゝや俄に逆路し難き情勢に在るので同候補最近の苦闘蓋しなみ大抵ならぬものがある

自殺を企つ

明賢寺内で

平町大館明賢寺境内に十八日午前十時頃洋服姿の身なりいやしからざる年若い、男が多量のモルヒネを飲下し苦悶してゐるのを同寺住職が発見直に平署に届出たので同署の林部長出張檢視した結果同人は石城郡警備村大字藤原瀧忠愛といふ東京獣醫學校を卒業後一年志願兵となり今年除隊となり家庭的に何等かの複雑した事情あるらしく平署で目下調査中であるが同人は附近病院に入院加療中であるが生命おぼつかない

一割増収か 石城郡の米作

石城郡下の稲作は早生は既に結實中晩生も最早や出穂期を終り殊に二十日及二十日も穩かに済み農家は一般に重荷を落とした感がある尙過般の颱風も石城地方には聊かの被害もなく例年に比し一割増収の見込みである

選挙事務打合 石城

郡植田、勿來、江名、小名濱、湯本、内郷、好間、赤井、磐崎、四倉、平等の郡内に於て多數有権者を有してゐる十一ヶ町村長は十七日午前十時から平町役場會議室に集合して選挙に關する各種の協議打合せを遂げる處ありませぬが、若しそれが不自然な肥り方であるならば一種の病氣ですから、適度のマッアージを施せば或程度まで効果があります、又瘦る藥すなはち秀効酸等のやうなものを服用すればお顔丈でなく、身體全体から適度の發達になると云はれて居ります

肥つてゐるが身丈が底い人があります之は人工的には仲々伸ばされせんし、かじ坐る事を廢して飲食物としてはアルコール分や麻酔性刺激性のものを避け機械操や爪先踊などを行ひカルシウム分を攝り常に愉快に生活すると多少丈が高くなると云はれて居ります

平町有権者名簿

- △三丁目 つぎ 増住良吉、馬目勝次郎、藤田彦七、小鍛治兼吉、小島藤左衛門、小泉兼吉、小島末藏、阿部源造、阿部榮藏、齊藤寅松、佐藤伊太郎、佐々木喜代治、酒井宗助、佐々木熊吉、齊藤徳治、坂本直吉、齊藤代重、佐藤甚七、佐藤豊次郎、北村幸吉、三森虎雄、三森慶次郎、三浦彦一、宮本忠太、宮村豊次、緑川恒治、緑川安吉、清水安弘、設樂貞一、清水鐵三、鹽崎角治、篠原傳平、澤竹太郎、鈴木勝藏、鈴木銀次郎、鈴木兼次郎、佐藤賢松、本田助八、積勇次郎、大塚久米十、△四丁目 石川廉治、猪狩菊太郎、猪狩庄平、猪狩吉彌、猪狩兵吾、伊藤徳之助、林豊一、新妻文吾、新妻春次、西牧齊庭山、星野庸治、本田卯八、穂積勇次郎、小野勇小野常治、小野寺猛、大宮佐平、大谷長太郎、渡邊大重、加藤次三郎、片川又正二、河西八十治、吉田義雄、吉田民哉、横山八郎、氏田熊平、高木貞雄、高木伊勢吉、根本徳太郎、永山直彦、中根好松、中村佐治助、鶴沼彦茂、小林清兵衛、阿部庄吉、阿部岩治、阿部唯次郎、會田右京、阿部秀寧、安藤喜代治、會川孝太郎、床井儀平治、淺川傳之助、齊藤武三、佐藤英次郎、齊藤英三郎、齊藤須藤房致、鈴木七松
- △五丁目 人江孝徳、石川幸太郎、井上茂作、遠藤文吾、遠藤忠三郎、飯島亥之松、遠藤爲吉、番内上三平、遠藤淺吉、番内岩太、芳賀武正、星野清吉、星竹次郎、本郷胞吉、大竹芳之助、大河原政太郎、岡部重太郎、大塚吉之助、若松佐平、渡半五郎、渡房吉、若林藤二、片寄弘文、片寄文四郎、笠原豊樹、片寄左次郎、片寄正壽、片寄長次郎、片寄小彌太、川又常五郎、加藤留吉、菅野鐵三郎、吉田啓助、吉田徳雄、高木武雄、大樂好安、高橋國太郎、丹野周一郎、井野市太郎、丹中瀧彌、田中繁雄、田邊清次郎、武田春吉、田中龜八、高田榮次郎、根本一郎、根本廣吉、根本清義、那須資勝、永山勝吉、室井政二、植村喜一、鶴沼喜重、野澤留三郎、野田廉、草野源一、山部政治、山崎芳松、馬目啓太郎、馬目重藏、馬目留吉、馬目喜徳治、馬目良之助、馬目富太郎、馬目房次郎、根本好男、布施金太郎、小菅岩太郎、小幡寅吉、小菅藤志、荒忠藏、阿部清次郎、酒井亥之次郎、酒井伊之助、酒井徳賢、佐藤喜市郎、佐藤克巳、佐々木龜太郎、酒井計助、酒井常吉、佐藤忠三、北村喜代之助、菊地勝雄、君山留吉、木村久吾、三森長次郎、三森猪之介、白石虎三郎、鹽澤藤十郎、志賀興市、志賀友吉、穴徳次郎、篠崎忠之助、平松茂、樽山春吉、引地精一、引地和四郎